

2019年(令和元年)下期 景気動向調査結果

～非製造業で消費増税の影響が顕在化、全産業で従業員・熟練技術者の確保難続く～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2019年7月1日から2019年12月31日(2019年(令和元年)下期)
- 調査実施期間 : 2019年12月19日から2020年1月20日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員等 540事業所
- 回答数 : 回収数 151 (回収率 28.0%)

業 種		従業員数					合計
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	
製 造 業		7	12	11	8	12	50
非製造業	建 設 業	2	3	7	2	1	15
	小 売 業	9	3	1	1	2	16
	卸 売 業	3	3	1	6	1	14
	サービス業	10	14	3	9	7	43
	その他業	3	2	2	0	6	13
合 計		34	37	25	26	29	151

● 概 要

2019年下期(7月～12月)の景況感は、前回調査(2019年7月)に比べ、製造業・非製造業ともに業況、売上において悪化傾向が見られるものの、製造業における採算においては、「自社ブランドの増加」や「加工賃の値上げ」、あるいは「新規ユーザーの増加」等の要因による改善傾向が伺えた。とりわけ非製造業における業況、売上の悪化要因として「消費税増税の影響」が多く挙げられ、前回調査時に伺えた消費税増税後への懸念が顕在化した結果となった。

直面する課題としては、全産業において「従業員・熟練技術者の確保難」や「需要の停滞」が多く挙げられた他、製造業では「生産設備の不足・老朽化」、非製造業では「人件費の増加」などが挙げられた。また、「仕入・原材料単価の上昇」についても、継続的な課題として残った。

先行きについては、製造業では「国内消費の冷え込み」、「鉄鋼業の減産」、「仕入高」などの要因から今期比で悪化の見通しが示され、非製造業においても、全体としては、今期比でほぼ横ばいの見通しとなったものの、とりわけ建設業においては「完成工事高の減少」等の要因により悪化傾向の見通しとなった。

2020年に入って、感染拡大が明らかになり、終息の見通しがたたない新型肺炎の景気への影響が確認され、今後の景気動向に注視する必要がある。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・技能や経営ノウハウの伝承
- ・人材確保(外国人技能実習生を含む)・人材育成
- ・生産性向上への取り組み
- ・人手不足、熟練技術者不足への対応としてのロボット化など
- ・災害に備えたBCP計画の構築
- ・仕入価格、人件費の高騰などに伴う販売価格の値上げを計画
- ・新規顧客の獲得
- ・協力会社の確保
- ・事業の集中と選択による得意分野の強化
- ・SDGs活動
- ・社会貢献(CSR)への取り組み

●非製造業

- ・人材確保
- ・労働時間の短縮、業務効率化
- ・キャリアアップシステムの確立
- ・省力化システムの導入
- ・新店舗のオープン、新社屋の建設
- ・直需工事の拡大
- ・ホームページや県外への営業強化
- ・環境に配慮した製品の回収や再利用に注力

※「DI値」とは

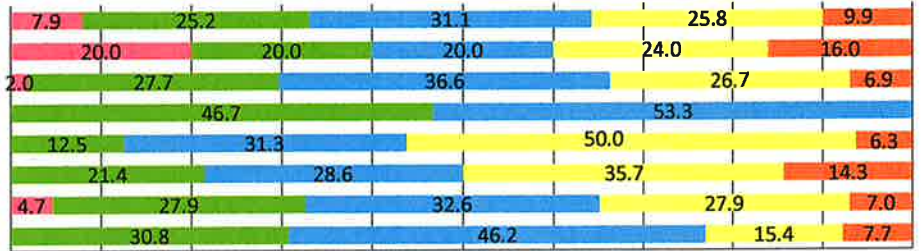
ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(2019年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 2.6 前期比 ▲ 16.1)
製造業	(今期 0.0 前期比 ▲ 9.3)
非製造業	(今期 ▲ 4.0 前期比 ▲ 19.7)
建設業	(今期 46.7 前期比 13.4)
小売業	(今期 ▲ 43.8 前期比 ▲ 65.2)
卸売業	(今期 ▲ 28.6 前期比 ▲ 51.7)
サービス業	(今期 ▲ 2.3 前期比 2.5)
その他業	(今期 7.7 前期比 ▲ 32.3)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

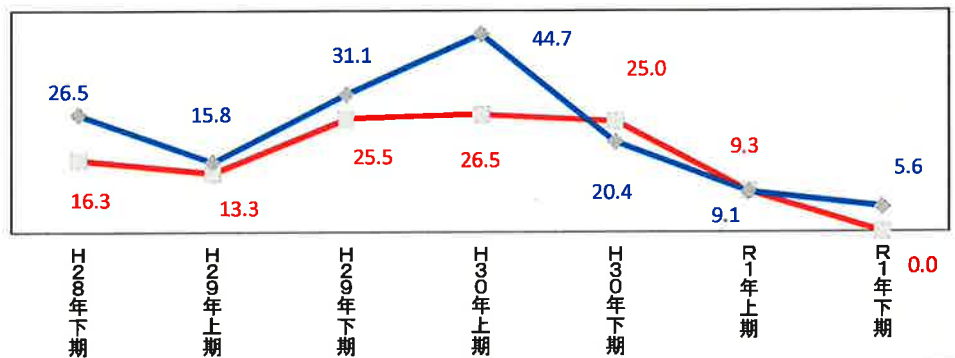
製造業で0.0(前期比▲9.3)、非製造業で▲4.0(前期比▲19.7)、全業種で▲2.6(前期比▲16.1)となり、非製造業のうち建設業でやや好転したもの、小売業、卸売業、その他業では前期に比べ大きく悪化した。
非製造業で悪化、やや悪化した要因として、「消費税増税の影響」が多く挙げられたほか、働き方改革に伴う労働時間の減少や経費の増加等が挙げられた。

※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業

— 今期のDI値

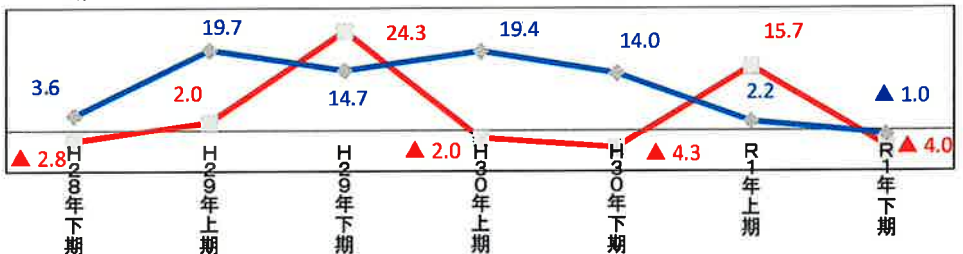
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

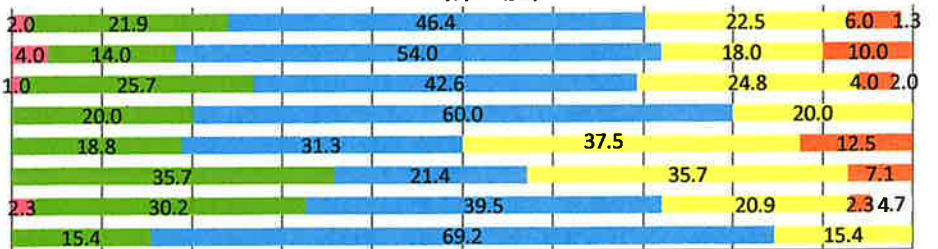


来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 4.6 今期比 ▲ 2.0)
製造業	(見通し ▲ 10.0 今期比 ▲ 10.0)
非製造業	(見通し ▲ 2.0 今期比 2.0)
建設業	(見通し 0.0 今期比 ▲ 46.7)
小売業	(見通し ▲ 31.3 今期比 12.5)
卸売業	(見通し ▲ 7.1 今期比 21.4)
サービス業	(見通し 9.3 今期比 11.6)
その他業	(見通し 0.0 今期比 ▲ 7.7)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では10.0ポイント悪化の▲10.0、非製造業では2.0ポイント改善の▲2.0、全業種で2.0ポイント悪化の▲4.6と見通している。製造業のやや悪化、悪化要因として、「米中貿易摩擦による世界経済の停滞」、「国内消費の冷え込み」、「鉄鋼を取り巻く環境変化」等が挙げられた。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位:%)

全業種	(今期 5.3 前期比 ▲17.1)
製造業	(今期 12.0 前期比 ▲13.9)
非製造業	(今期 2.0 前期比 ▲18.6)
建設業	(今期 20.0 前期比 ▲13.3)
小売業	(今期 ▲37.5 前期比 ▲58.9)
卸売業	(今期 ▲42.9 前期比 ▲66.0)
サービス業	(今期 25.6 前期比 16.1)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲33.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

売上DI値は、製造業で12.0(前期比▲13.9)、非製造業で2.0(前期比▲18.6)、全業種で5.3(前期比▲17.1)となり、製造業・非製造業ともに減少傾向となり、非製造業ではサービス業以外の全ての業種で前期比で悪化した。

製造業におけるやや減少、減少要因としては、「米中貿易摩擦による景気低迷」、「取引先の受注減少」等が挙げられ、非製造業の同要因としては、「消費税増税の影響」が多く挙げられたほか、「他社との競合」や「赤字店舗の閉鎖」等が挙げられた。

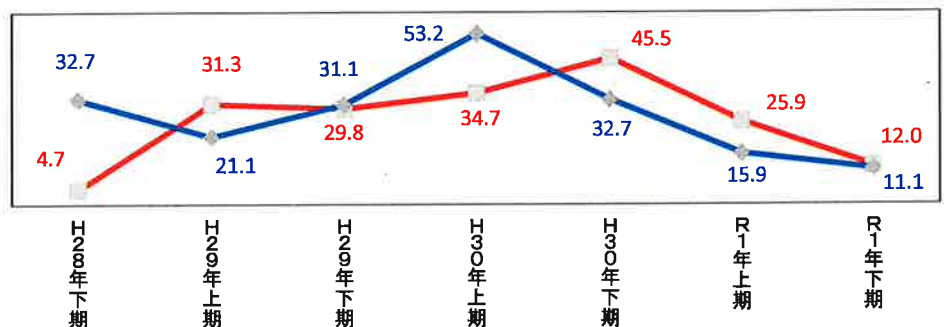
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

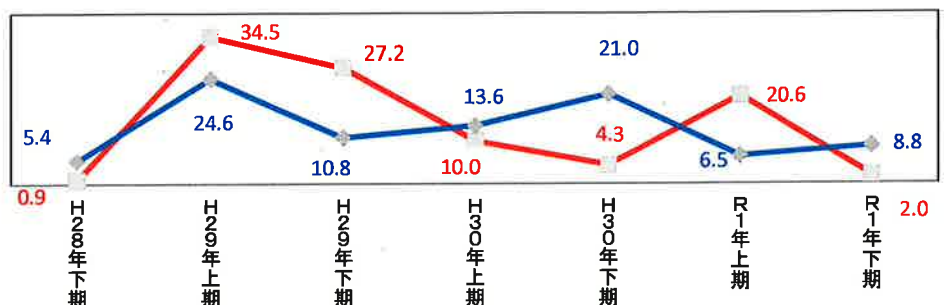
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

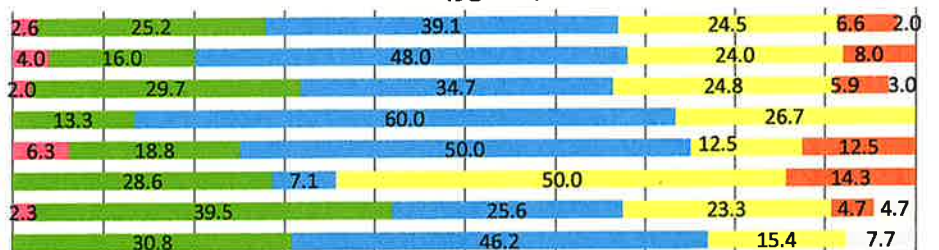


来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(売上)

(単位:%)

全業種	(見通し ▲3.3 今期比 ▲8.6)
製造業	(見通し ▲12.0 今期比 ▲24.0)
非製造業	(見通し 1.0 今期比 ▲1.0)
建設業	(見通し ▲13.3 今期比 ▲33.3)
小売業	(見通し 0.0 今期比 37.5)
卸売業	(見通し ▲35.7 今期比 7.1)
サービス業	(見通し 14.0 今期比 ▲11.6)
その他業	(見通し 15.4 今期比 15.4)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で24.0ポイント悪化の▲12.0、非製造業で1.0ポイント悪化の1.0、全業種で8.6ポイント悪化の▲3.3と見通している。

製造業では今期のやや減少、減少要因が来期以降も続くことにより更なる減少が見通され、非製造業では、建設業で「完成工事高の減少」等により、今期に引き続き減少傾向の見通しとなった。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(採 算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

採算DI値は、製造業で12.0(前期比15.7)、非製造業で▲8.9(前期比▲28.5)、全業種で▲2.0(前期比▲13.5)となった。製造業におけるやや好転、好転要因として、「自社ブランド品の増加」、「加工賃の値上げ」、「新規ユーザーの増加」等が挙げられ、非製造業では全ての業種において前期比で悪化し、やや悪化、悪化要因としては、「売上の減少」、「利益率の減少」、「借入金の増加」、「人件費の増加」等が挙げられた。

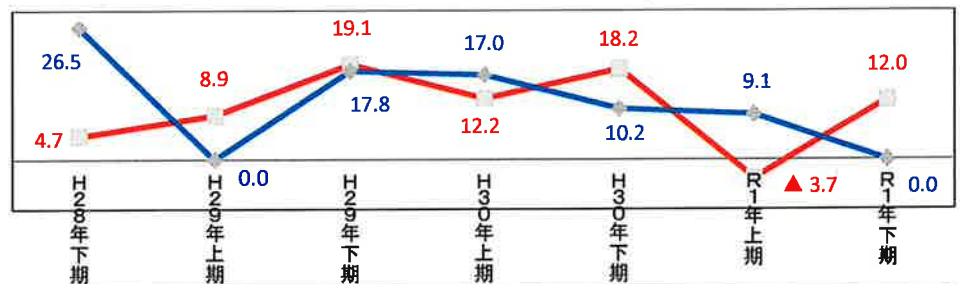
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

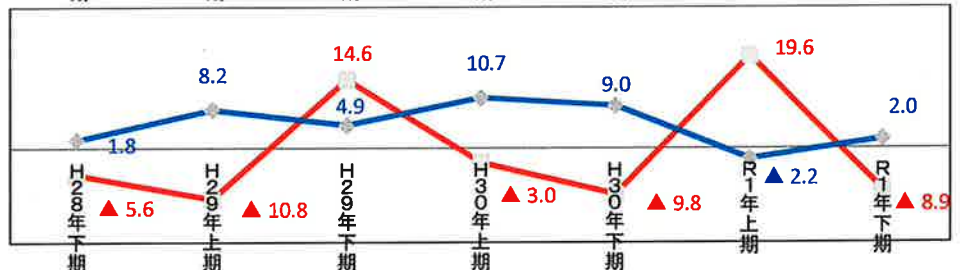
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

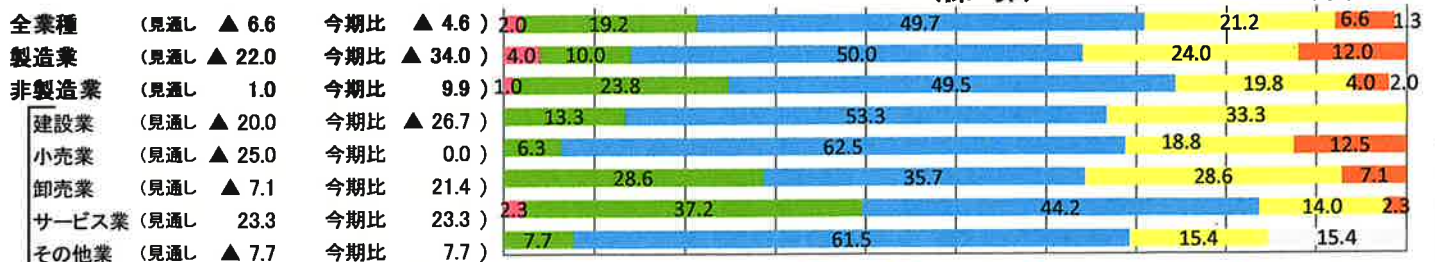
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(採 算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

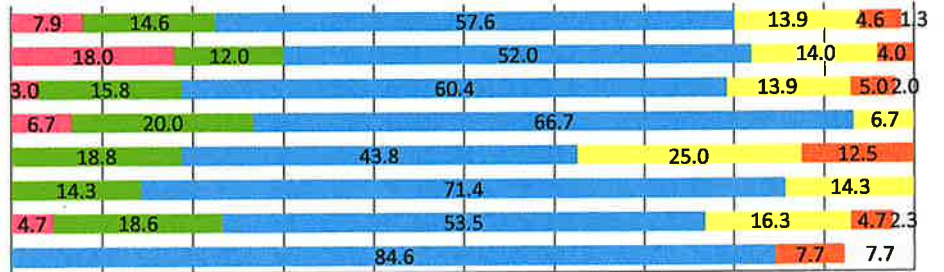
今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で▲34.0ポイント悪化の▲22.0、非製造業で9.9ポイント改善の1.0、全業種で▲4.6ポイント悪化の▲6.6と見通している。製造業ではやや悪化、悪化要因として「鉄鋼業の減産」、「仕入高」等が挙げられ、非製造業では建設業以外は今期比で横ばい、改善の見通しを示したものの、サービス業・建設業以外はマイナス域での推移となった。

今期(2019年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 4.0 前期比 ▲ 9.5)
製造業	(今期 12.0 前期比 4.6)
非製造業	(今期 0.0 前期比 ▲ 16.7)
建設業	(今期 20.0 前期比 ▲ 7.8)
小売業	(今期 ▲ 18.8 前期比 ▲ 25.9)
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲ 15.4)
サービス業	(今期 2.3 前期比 ▲ 12.0)
その他業	(今期 ▲ 7.7 前期比 ▲ 27.7)

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で12.0(前期比4.6)、非製造業で0.0(前期比▲16.7)、全業種で4.0(前期比▲9.5)となった。製造業は前期に比べ改善傾向を示しプラス域での推移したもの、非製造業では全ての業種において前期に比べ悪化した。

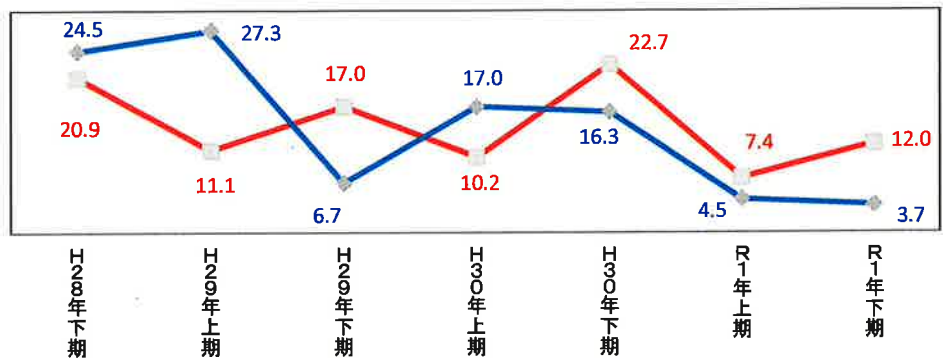
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

● 実際のDI値

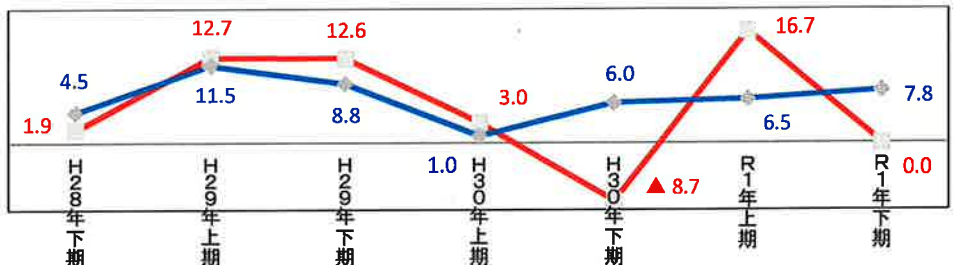
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

● 実際のDI値

● 前期調査時点での今期見通し

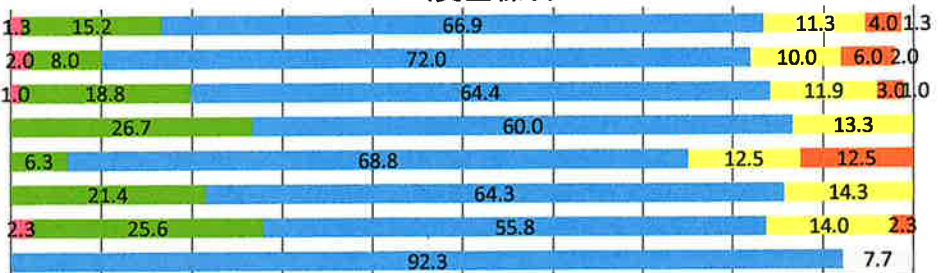


来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 1.3 今期比 ▲ 2.6)
製造業	(見通し ▲ 6.0 今期比 ▲ 18.0)
非製造業	(見通し 5.0 今期比 5.0)
建設業	(見通し 13.3 今期比 ▲ 6.7)
小売業	(見通し ▲ 18.8 今期比 0.0)
卸売業	(見通し 7.1 今期比 7.1)
サービス業	(見通し 11.6 今期比 9.3)
その他業	(見通し 0.0 今期比 7.7)

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

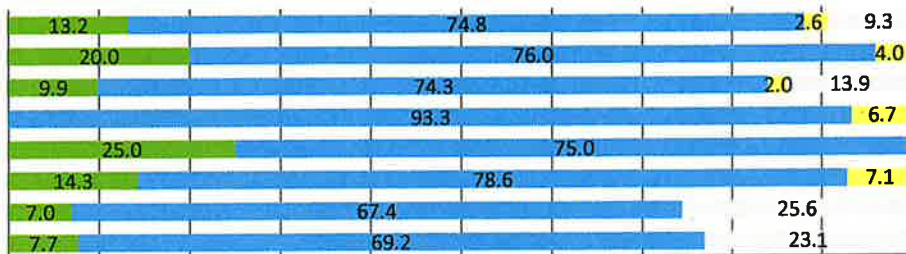
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲18.0ポイント悪化の▲6.0、非製造業で5.0ポイント改善の5.0、全業種で▲2.6ポイント悪化の1.3と見通している。非製造業では建設業以外は、今期比で横ばい、改善の傾向を示したもの、小売業ではマイナス域を脱せず、厳しい資金繰りが続く見通しとなった。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 10.6	前期比 ▲ 9.3)
製造業	(今期 ▲ 16.0	前期比 ▲ 14.1)
非製造業	(今期 ▲ 7.9	前期比 ▲ 6.9)
建設業	(今期 6.7	前期比 1.1)
小売業	(今期 ▲ 25.0	前期比 ▲ 25.0)
卸売業	(今期 ▲ 7.1	前期比 23.7)
サービス業	(今期 ▲ 7.0	前期比 ▲ 14.1)
その他業	(今期 ▲ 7.7	前期比 ▲ 1.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲16.0(前期比▲14.1)、非製造業で▲7.9(前期比▲6.9)、全業種で▲10.6(前期比▲9.3)となった。製造業、非製造業ともに前期比でマイナス域での推移を示し、とりわけ「小売業」では在庫の過剰傾向が見受けられた。

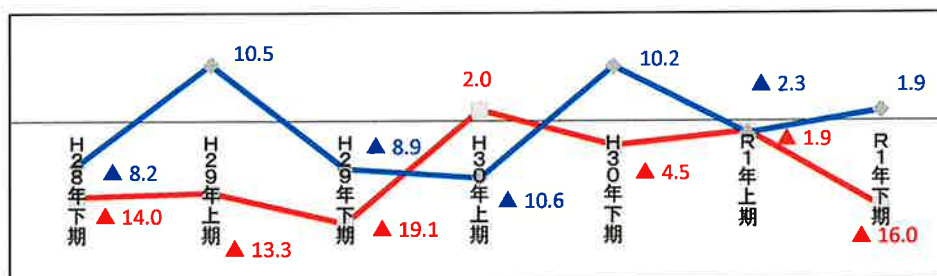
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

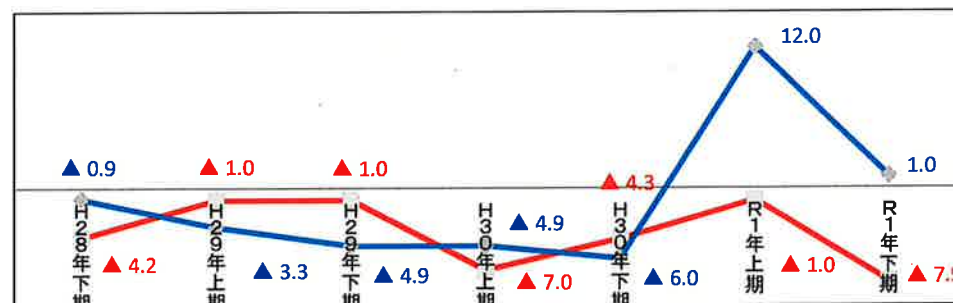
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

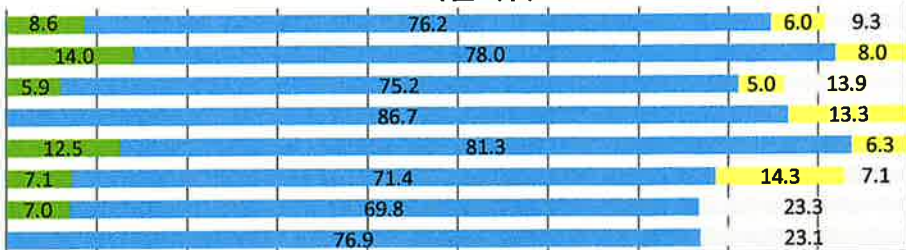


来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(在庫)

(単位: %)

全業種	(見通し ▲ 2.6	今期比 7.9)
製造業	(見通し ▲ 6.0	今期比 10.0)
非製造業	(見通し ▲ 1.0	今期比 6.9)
建設業	(見通し 13.3	今期比 6.7)
小売業	(見通し ▲ 6.3	今期比 18.8)
卸売業	(見通し 7.1	今期比 14.3)
サービス業	(見通し ▲ 7.0	今期比 0.0)
その他業	(見通し 0.0	今期比 7.7)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

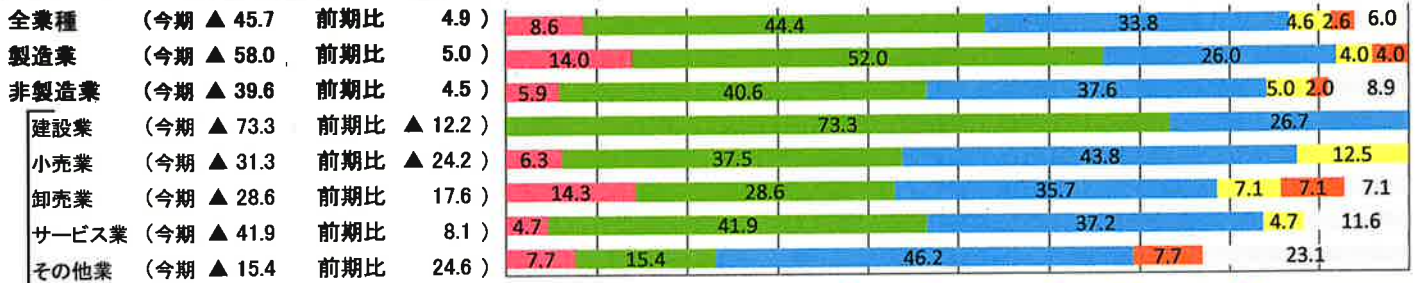
今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で10.0ポイント改善の▲6.0、非製造業で6.9ポイント改善の▲1.0、全業種で7.9ポイント改善の▲2.6と見通している。非製造業では「小売業」及び「サービス業」がマイナス域で推移し、今期に引き続き在庫過剰の状況が続く見通しとなった。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

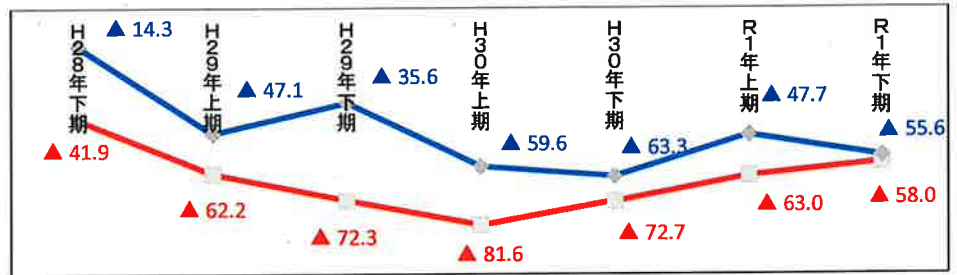
仕入単価DI値は、製造業で▲58.0(前期比5.0)、非製造業▲39.6(前期比4.5)、全業種で▲45.7(前期比4.9)となった。製造業・非製造業ともに、前期比でやや改善が見られるものの依然マイナス域で推移しており、非製造業でも全業種でマイナス域での推移が続き、とりわけ「建設業」および「小売業」では前期比で悪化を示すなど、仕入単価上昇による影響は依然大きいことが伺える。

※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

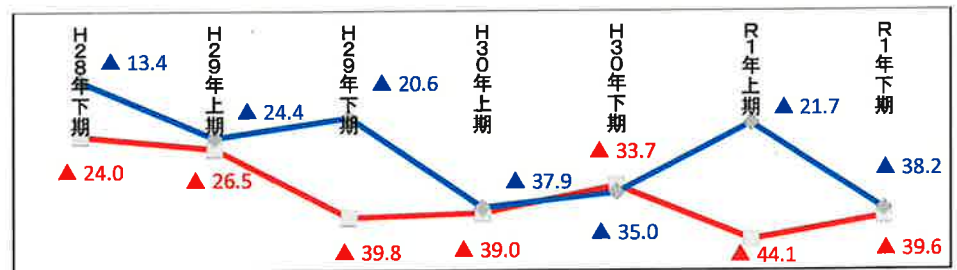
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で12.0ポイント改善の▲46.0、非製造業で2.0ポイント改善の▲37.6、全業種で5.3ポイント改善の▲40.4と見通している。製造業、非製造業ともに今期比で改善傾向を見通しているものの、全業種でプラス域に達することなく引き続き厳しい見通しとなり、「小売業」及び「卸売業」、並びに「その他業」では今期より上昇する見通しを示した。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

従業員数DI値は、製造業で32.0(前期比19.0)、非製造業で3.0(前期比▲7.8)、全業種で12.6(前期比1.1)となった。製造業では前期に比べ増加傾向を示したものの、非製造業ではその他業以外の全ての業種において前期比でマイナスとなり、全体の増加傾向を押し下げた。

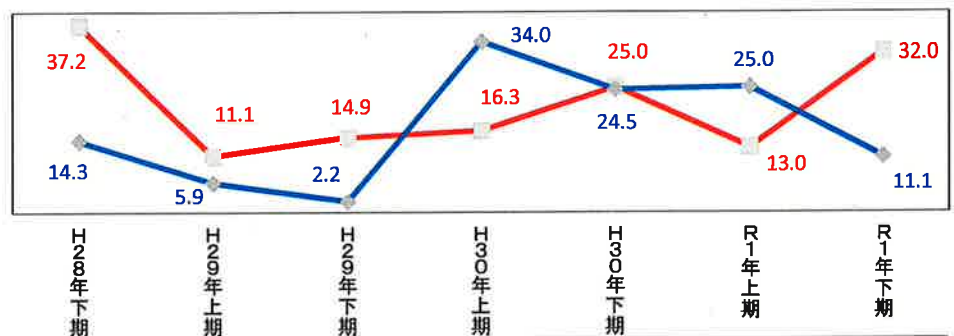
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

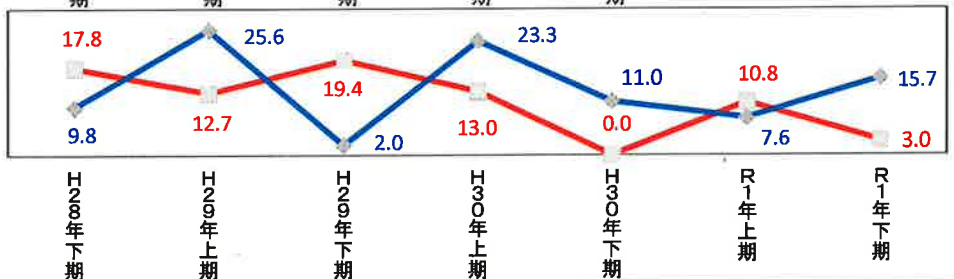
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

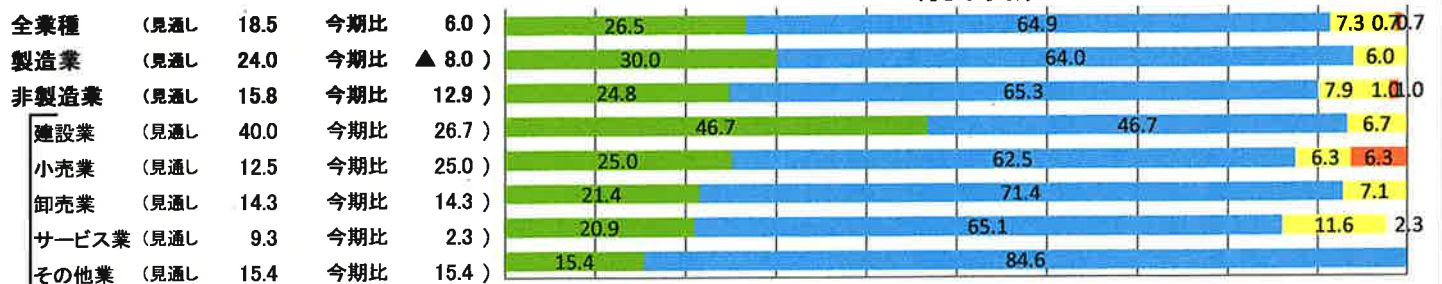
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

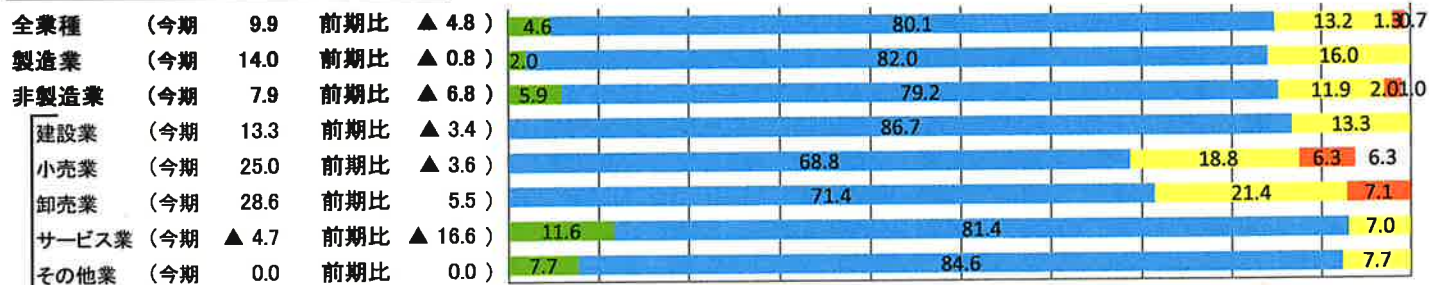
今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲8.0ポイント下降の24.0、非製造業で12.9ポイント上昇の15.8、全業種で6.0ポイント上昇の18.5と見通している。非製造業では全ての業種で今期比で上昇し、今後の従業員確保への積極的な取り組みがうかがえる。

今期(2019年7月～12月)のDI値

(設 備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)の状況

設備DI値は、製造業で14.0(前期比▲0.8)、非製造業で7.9(前期比▲6.8)、全業種で9.9(前期比▲4.8)となった。製造業、非製造業ともに前期比でややマイナスとなったが、前期に引き続きやや設備不足の傾向にあることが伺えた。

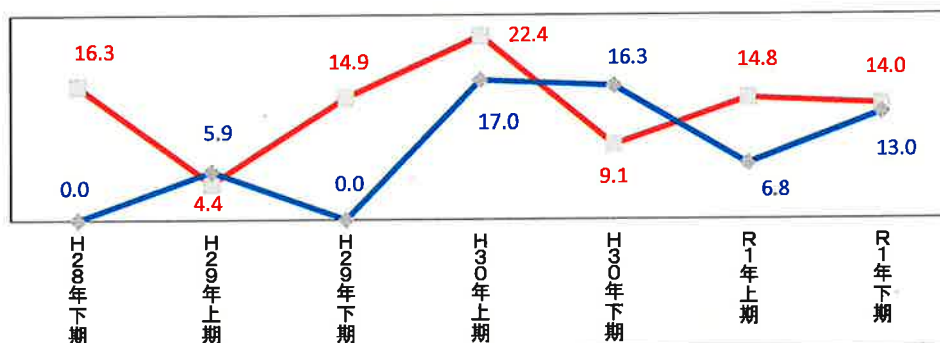
※前期比とは、前回調査(令和元年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

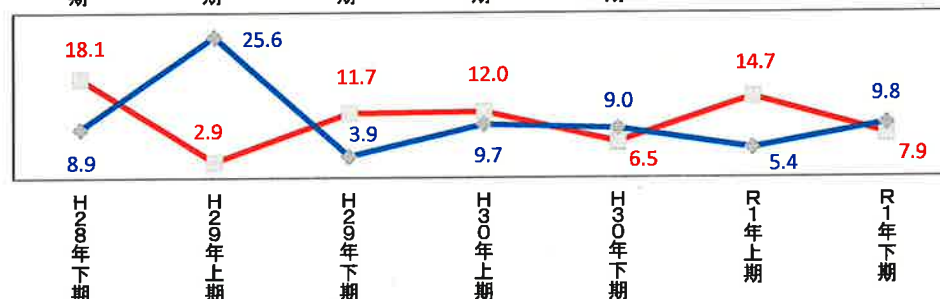
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)

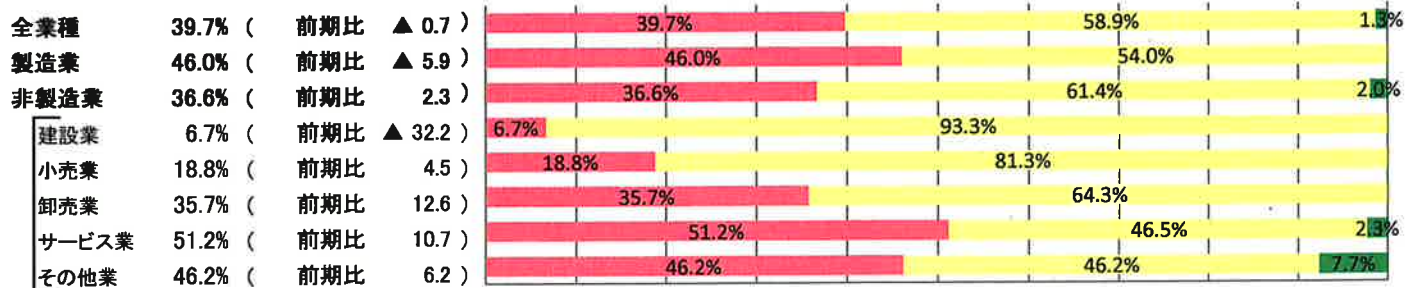


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

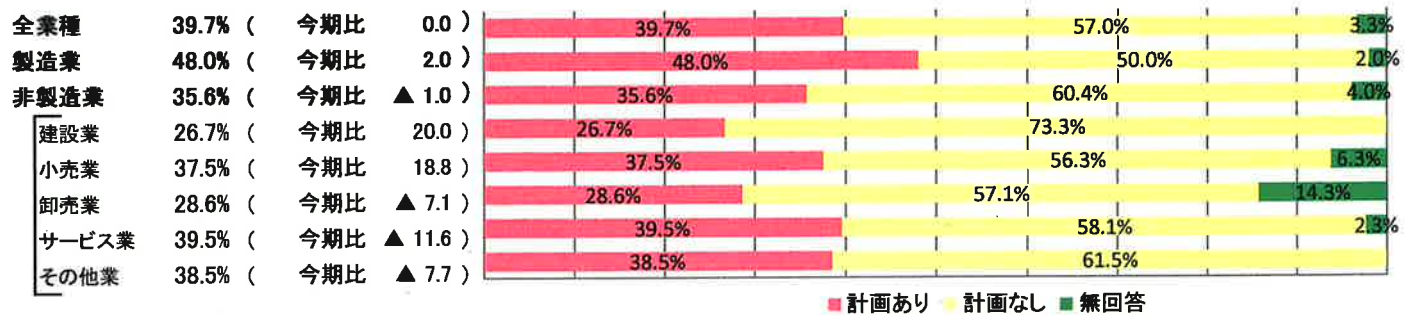
今期と比較した来期(2020年1月～6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業は横ばいの13.0、非製造業で4.0ポイントマイナスの4.0、全業種で2.6ポイントマイナスの7.3と見通しており、今期同様やや設備不足の傾向が続く見通しとなった。

◆ 今期(2019年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



◆ 来期(2020年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	3.0%	0.0%	6.3%	0.0%	2.3%	7.7%
需要の停滞	② 38.0%	③ 22.0%	13.3%	① 43.8%	③ 14.3%	14.0%	① 38.5%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	0.0%	10.0%	6.7%	③ 18.8%	0.0%	11.6%	7.7%
新規参入業者の増加	2.0%	2.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	24.0%	14.0%	0.0%	② 31.3%	② 21.4%	9.3%	③ 15.4%
生産設備の不足・老朽化	③ 30.0%	4.0%	0.0%	12.5%	0.0%	2.3%	7.7%
原材料の不足	8.0%	1.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	26.0%	20.0%	② 26.7%	③ 18.8%	① 28.6%	③ 16.3%	③ 15.4%
下請負単価の上昇	6.0%	6.0%	③ 20.0%	0.0%	7.1%	2.3%	7.7%
官公需要の停滞	2.0%	5.0%	6.7%	0.0%	7.1%	7.0%	0.0%
取引条件の悪化	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	7.1%	2.3%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
購買力の他地域への流出	2.0%	2.0%	0.0%	6.3%	0.0%	2.3%	0.0%
在庫の過剰	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	8.0%	4.0%	0.0%	6.3%	③ 14.3%	2.3%	0.0%
人件費の増加	24.0%	② 24.0%	② 26.7%	12.5%	③ 14.3%	② 27.9%	② 30.8%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	2.0%	3.0%	0.0%	6.3%	0.0%	4.7%	0.0%
店舗・施設の老朽化	6.0%	11.0%	6.7%	12.5%	7.1%	11.6%	③ 15.4%
従業員・熟練技術者の確保難	① 50.0%	① 37.0%	① 53.3%	② 31.3%	① 28.6%	① 34.9%	① 38.5%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4.0%	8.0%	6.7%	6.3%	7.1%	7.0%	③ 15.4%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

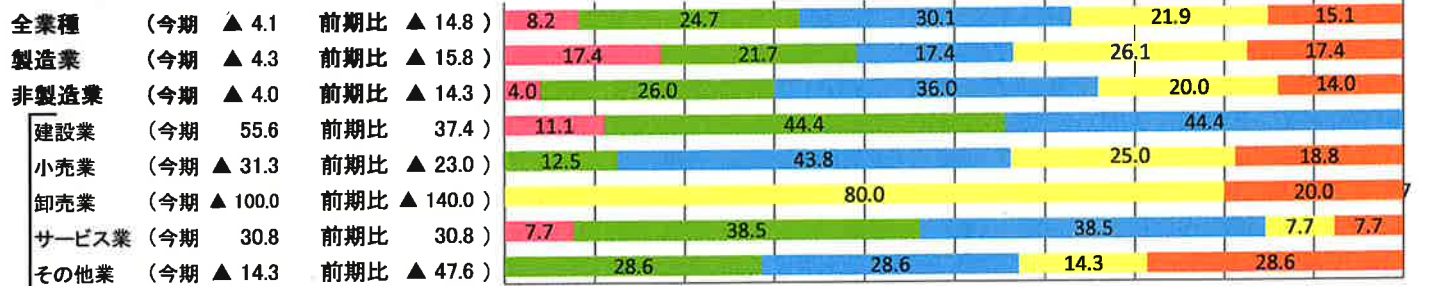
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2019年7月1日から2019年12月31日（2019年（令和元年）下期）
- 調査実施期間：2019年12月19日から2020年1月20日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 355 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：73（回答率 20.6%）

業種		従業員数		0～5人	6～20人	合計
非製造業	製造業			8	15	23
	建設業			4	5	9
	小売業			16		16
	卸売業			5		5
	サービス業			13		13
	その他業			7	0	7
合計				53	20	73

業況DI

今期（2019年7月～12月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

来期（2020年1月～6月）の見通しDI値

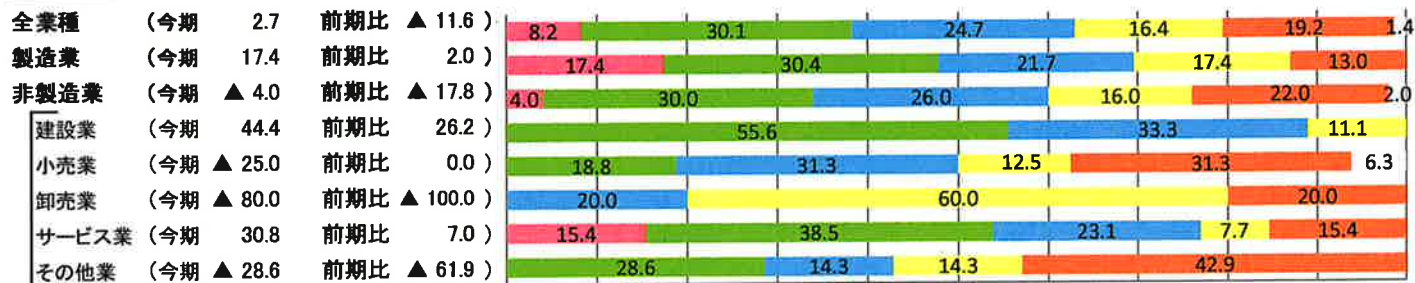


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期(2019年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



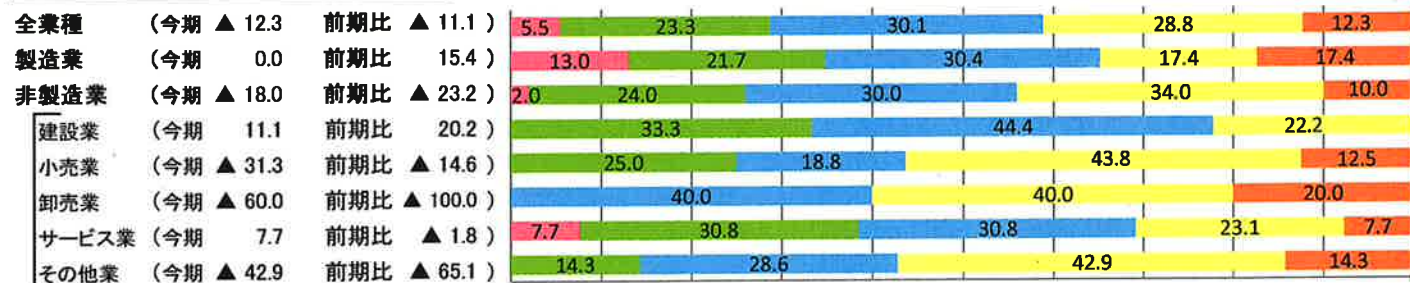
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(2019年7月～12月)のDI値

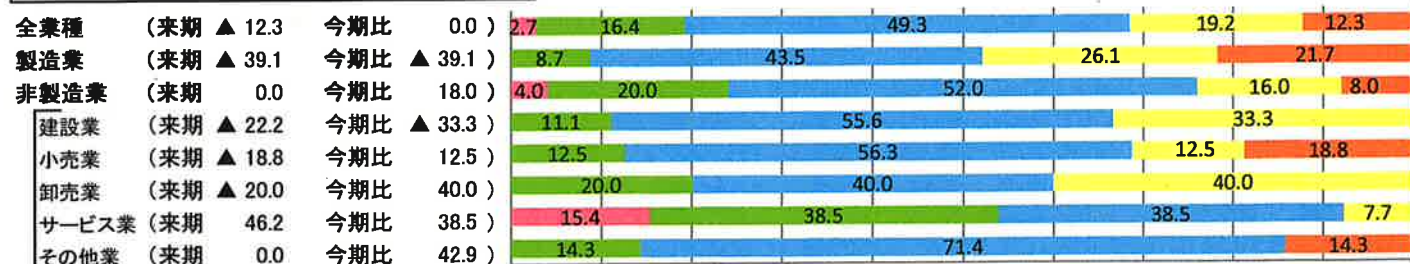
(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値

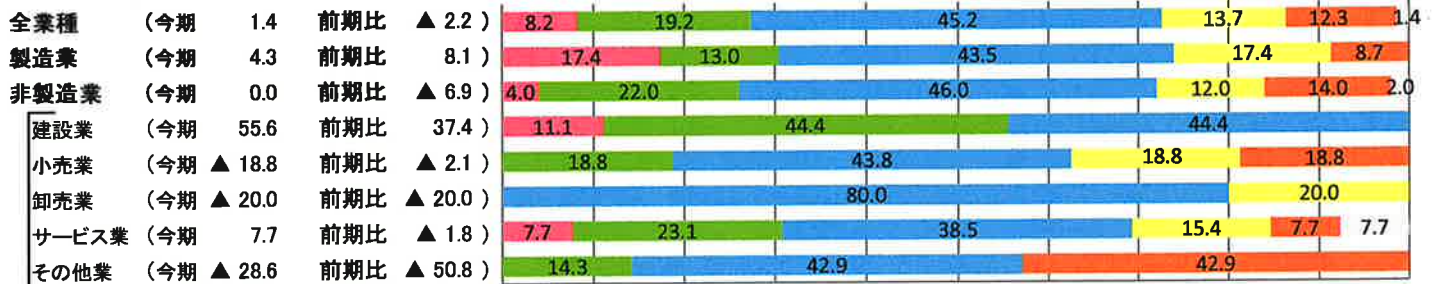


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2019年7月～12月)のDI値

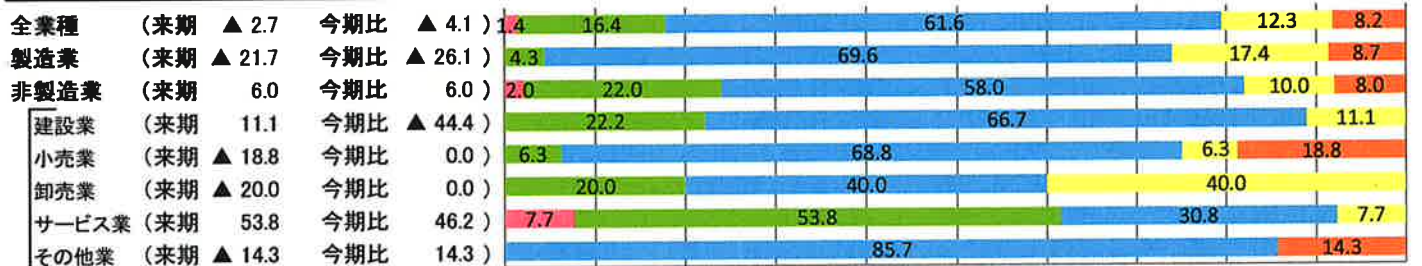
(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



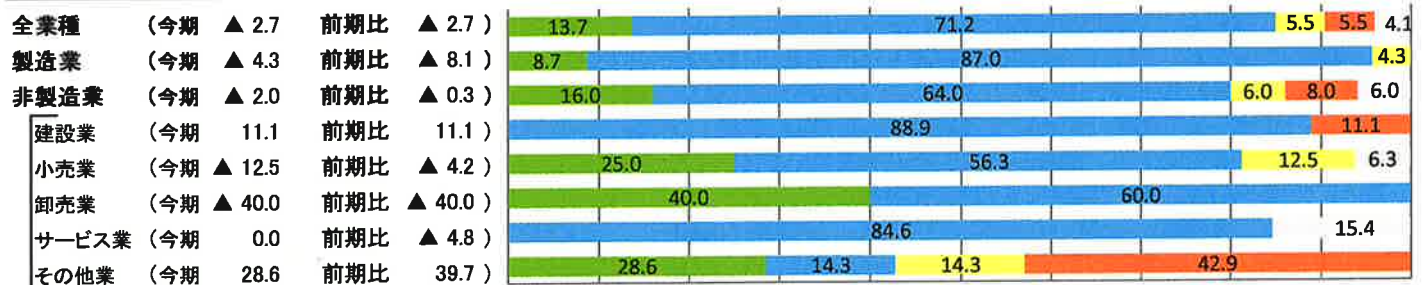
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

在庫DI

今期(2019年7月～12月)のDI値

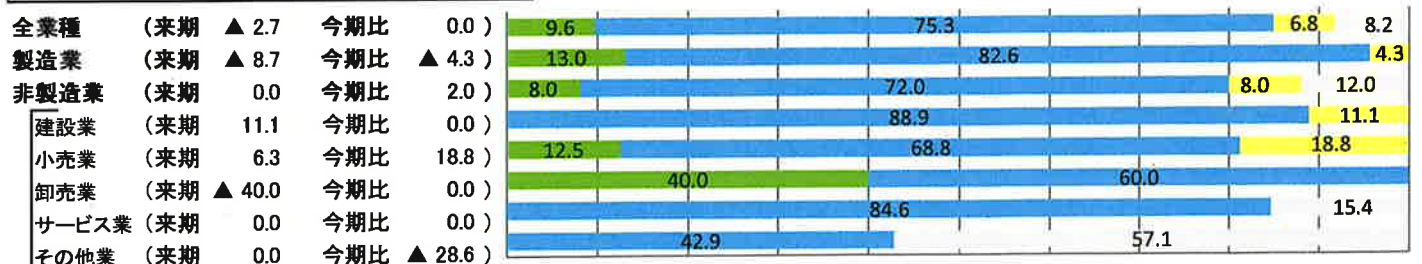
(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

今期(2019年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



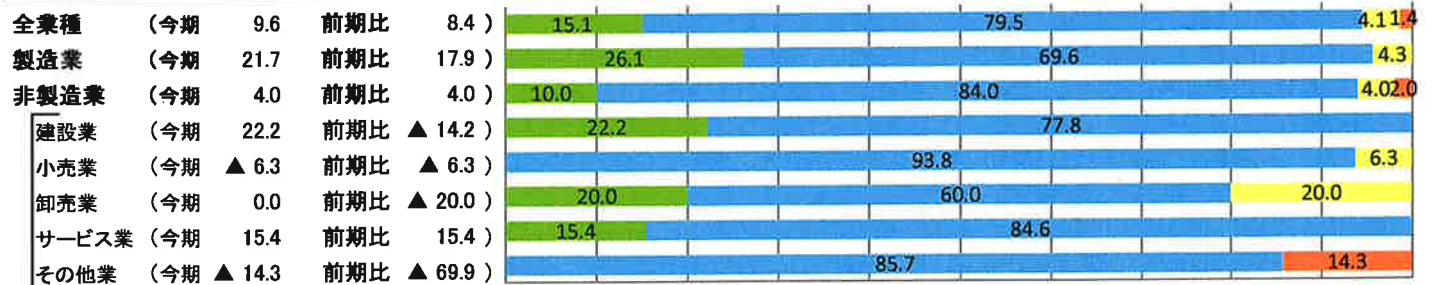
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

従業員数DI

今期(2019年7月～12月)のDI値

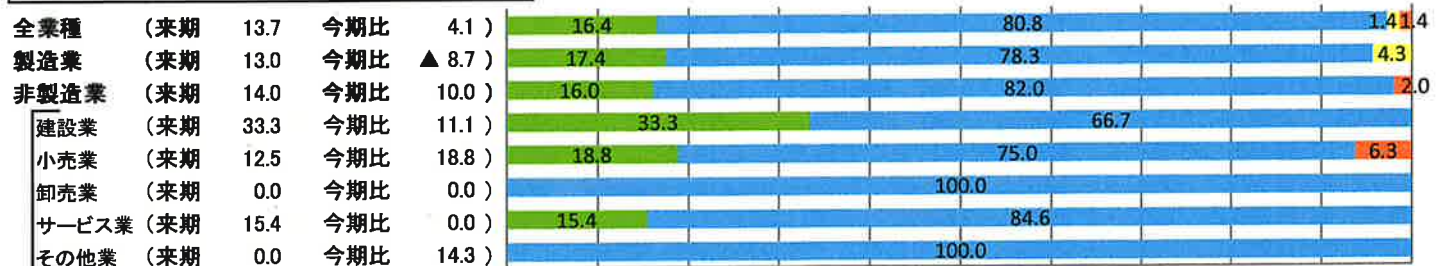
(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



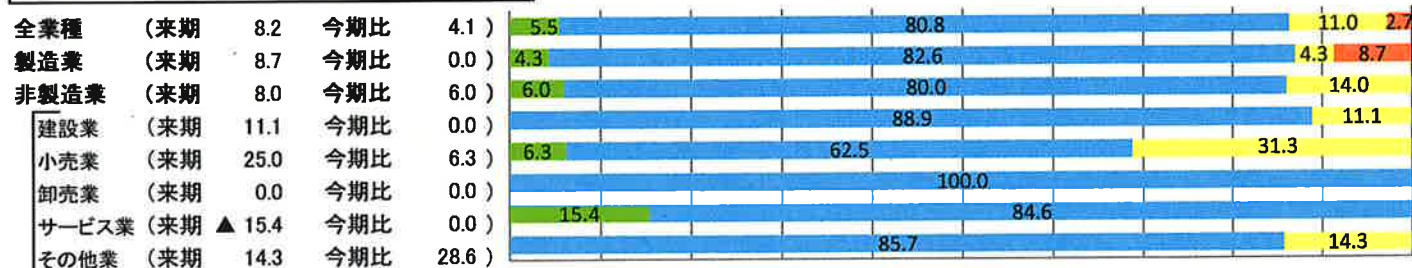
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2019年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2020年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

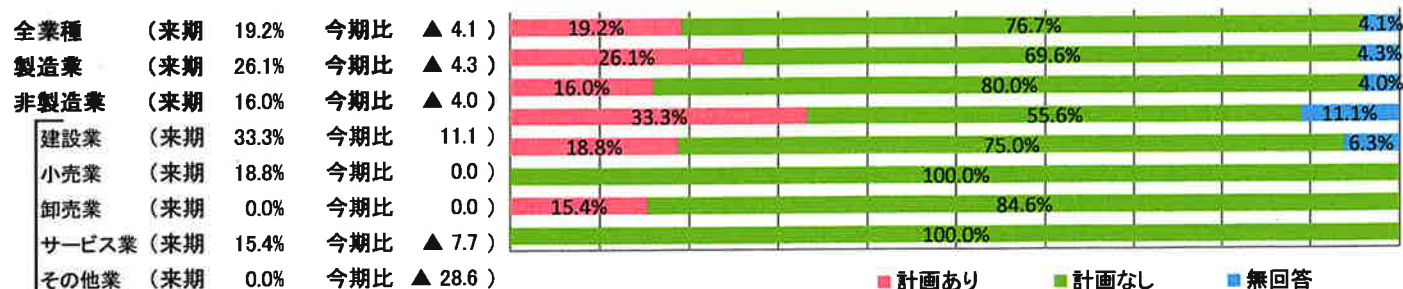
新規設備投資

◆今期(2019年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2020年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業		非製造業		建設業		小売業		卸売業		サービス業		その他業	
大企業の進出による競争の激化		0.0%		4.1%		0.0%		6.3%		0.0%		7.7%		0.0%
需要の停滞	①	43.5%	②	22.4%	③	11.1%	①	31.3%	②	20.0%		7.7%	①	42.9%
為替差損		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
売上単価の低下		0.0%		14.3%	③	11.1%	②	25.0%	②	20.0%		0.0%	②	14.3%
新規参入業者の増加		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③	17.4%		14.3%		0.0%	②	25.0%		0.0%	③	15.4%	②	14.3%
生産設備の不足・老朽化	③	17.4%		4.1%		0.0%	③	12.5%		0.0%		0.0%		0.0%
原材料の不足		4.3%		4.1%		0.0%	③	12.5%		0.0%		0.0%		0.0%
仕入・原材料単価の上昇	②	30.4%	③	18.4%		11.1%	②	25.0%	①	60.0%		0.0%	②	14.3%
下請負単価の上昇		4.3%		4.1%	②	22.2%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
官公需要の停滞		4.3%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		7.7%		0.0%
取引条件の悪化		4.3%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	②	14.3%
金利負担の増加		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
事業資金の借入難		0.0%		2.0%	③	11.1%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
購買力の他地域への流出		0.0%		6.1%		0.0%	③	12.5%		0.0%		7.7%		0.0%
在庫の過剰		0.0%		4.1%		0.0%		6.3%	②	20.0%		0.0%		0.0%
価格への転嫁難		13.0%		4.1%		0.0%		6.3%	②	20.0%		0.0%		0.0%
人件費の増加		13.0%		16.3%	②	22.2%	③	12.5%		0.0%	②	23.1%	②	14.3%
設備の過剰		0.0%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	②	14.3%
代金回収の悪化		0.0%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		7.7%		0.0%
駐車場の確保難		4.3%		6.1%		0.0%		6.3%		0.0%	③	15.4%		0.0%
店舗・施設の老朽化		13.0%		8.2%		0.0%		6.3%		0.0%	③	15.4%	②	14.3%
従業員・熟練技術者の確保難	①	43.5%	①	34.7%	①	55.6%	①	31.3%		0.0%	①	30.8%	①	42.9%
燃料費(電気料金を含む)の高騰		0.0%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	②	14.3%
その他		4.3%		2.0%		0.0%		0.0%		0.0%		7.7%		0.0%